

初心者でもできる  
失敗を減らす投資判断の基礎  
(財務×インデックス×高配当)  
～銘柄選びで失敗しないための最低限の知識～

AFP 鈴木 英之

## 本日のゴール

---

- 投資で“やってはいけない行動”がわかる
- 自分に合う投資手法を選べる
- ダメな銘柄を避けられるようになる

# 目次

- 01** 企業の健康診断書
- 02** 投資の最適解  
インデックス投資
- 03** 企業を応援し商品がもらえる  
株主優待投資
- 04** 不労所得  
高配当株投資
- 05** 実践ツール
- 06** まとめ



01

# 企業の健康診断書

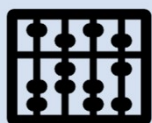
# 財務諸表

財務諸表とは、企業の健康診断書

企業の成績を見る際に、決算書を確認します。

決算書は3か月ごとや1年毎に発表される企業の成績表です。

決算書の中に特定のルールに沿って算出された表を財務諸表と言います。



**PL**

どれだけ儲けて



**BS**

どれだけ持っているか

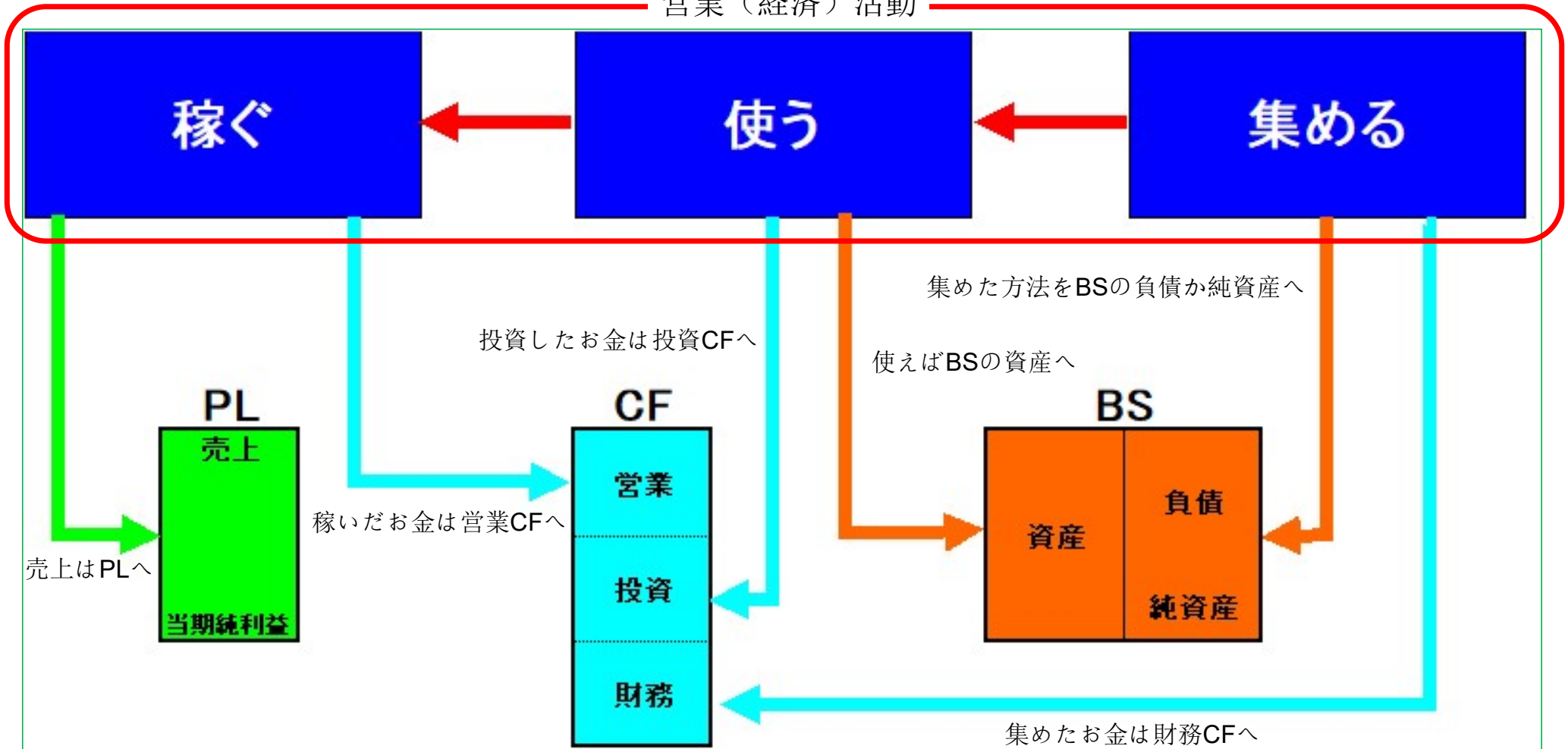


**CF**

お金はどう動いたか

# 財務3表の関連図

営業（経済）活動



## 見るべきポイント

---

1. 売上・利益（成長しているか）
2. 借金（倒産しないか）
3. 現金（本当に儲かっているか）

# 損益計算書 (PL)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日に 終了した1年間)	当連結会計年度 (2025年3月31日に 終了した1年間)
営業収益		
商品・製品売上収益	41,648,130	43,598,877
金融事業に係る金融収益	3,447,195	4,437,827
営業収益合計	45,095,325	48,036,704

45,095,325

48,036,704

営業利益	5,352,934	4,795,586
------	-----------	-----------

5,352,934

4,795,586

## 損益計算書 (PL) の内容

### 見るべきポイント：売上と営業利益が伸びているか

#### ■売上高：1年間で幾ら売ったのか

■売上原価：材料や仕入れの費用

■売上総利益又は売上総損失：粗利。売上高から売上原価を引いた利益

■販売費および一般管理費：広告宣伝費や営業のための人件費など  
(人事や総務等の管理部門の社員の給料など)

■営業利益又は営業損失：売上総利益から販管費を引いた本業の利益

■営業外利益：本業以外の利益

■営業外費用：本業以外の費用

■経常利益又は経常損失：営業利益に営業外の損益を足し引きした利益

■特別利益：想定外の一時的な利益

■特別損失：想定外の一時的な損失

■税引き前当期純利益：経常利益に想定外の損益を足し引きした利益

■法人税など税金：納税額

■当期純利益：税引き前当期純利益から税金を引いて最後に残った利益

# 貸借対照表 (BS)

資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	9,412,060	8,982,404
営業債権及びその他の債権	3,789,429	3,679,722
金融事業に係る債権	11,057,269	11,453,249
その他の金融資産	4,702,168	6,935,759
棚卸資産	4,605,368	4,598,232
未収法人所得税	116,886	216,528
その他の流動資産	1,031,098	1,212,783
流動資産合計	34,714,279	37,078,676

34,714,279

37,078,676

## 貸借対照表 (BS) の内容 (資産の部)

見るべきポイント：流動資産合計で活動資金の有無を確認

### 資産の部

#### ■流動資産：1年以内に現金化できる資産

- ・現金及び預金
- ・売掛金（1年以内で現預金で回収が見込まれるもの）

#### ■固定資産：現金化に時間がかかる資産

- ・有形固定資産（形のある資産）
- ・無形固定資産（形のない資産）

#### ■投資その他の資産：流動資産でも固定資産でもない資産

- ・1年を超えるまたは期をまたぐ資産

# 貸借対照表 (BS)

負債合計	54,874,958	56,722,437
------	------------	------------

	54,874,958	56,722,437
--	------------	------------

資本合計	35,239,338	36,878,913
負債及び資本合計	90,114,296	93,601,350

	35,239,338	36,878,913
--	------------	------------

	90,114,296	93,601,350
--	------------	------------

## 貸借対照表 (BS) の内容 (負債の部・純資産の部)

見るべきポイント：負債合計・負債純資産合計から  
借金が多すぎないか  
自己資本比率60%以上か (目安)

### 負債の部

■流動負債：1年以内に返済する負債

- ・短期借入金

■固定負債：1年を超える返済期限の負債

### 純資産の部

■株主資本：株主から得た資産

- ・資本金

■利益剰余金：利益を積み立てた資産

# 貸借対照表

<b>流動資産</b>  1年以内に 現金化できる	<b>流動負債</b>  1年以内に 返済・支払期限が 来る負債
<b>固定資産</b>  流動資産より 現金化に 時間がかかる	<b>固定負債</b>  1年より後に 返済・支払期限が 来る負債
	<b>純資産</b>

※ 1年以内に現金化できるかどうかで  
「流動」と「固定」に分ける

# キャッシュフロー計算書 (CF)

営業活動によるキャッシュ・フロー	4,206,373	3,696,934
------------------	-----------	-----------

4,206,373	3,696,934
-----------	-----------

営業CFがプラスなら基本はOK  
営業CFがマイナスは要注意

営業活動によるキャッシュフロー	通常の営業活動(本業)で稼いだキャッシュフロー	稼ぐ(+)
投資活動によるキャッシュフロー	本業で稼いだキャッシュをどのように使うか	使う(-)
財務活動によるキャッシュフロー	資金の調達や返済の状況、株主還元を表す	使う(-)

- ☑ 営業活動で稼いで、投資や財務の返済に利用するのが健全な状態
- ☑ キャッシュフローで現預金の状況をしっかり把握する
- ☑ どの項目が「+」か「-」で会社の状況を判断する

# 02

## 投資の最適解 (インデックス投資)

## 投資手法の分類

投資手法	リスク	手間	リターン
インデックス	低	少	中
優待	中	中	中
高配当	中～高	高	中～高

## インデックス投資

---

### ※初心者はこれ一択

- 特定の指数（インデックス）に連動する投資
- 低コストで分散投資が可能で、長期では元本割れしない
- 暴落時に売ったり短期でやめてはいけない

# インデックス投資のメリットデメリット

---

## ● メリット

- 小額から始められる
- 配当金が自動で再投資され、無駄な税金がかからず投資効率がいい
- リスク分散ができる

## ● デメリット

- 時間がかかり、すぐに結果が出ない
- 値動きになれるまでは不安になる
- 種類が多く選ぶのが難しい（間違っただのを選ぶと大変）

# インデックス投資は長期投資が基本

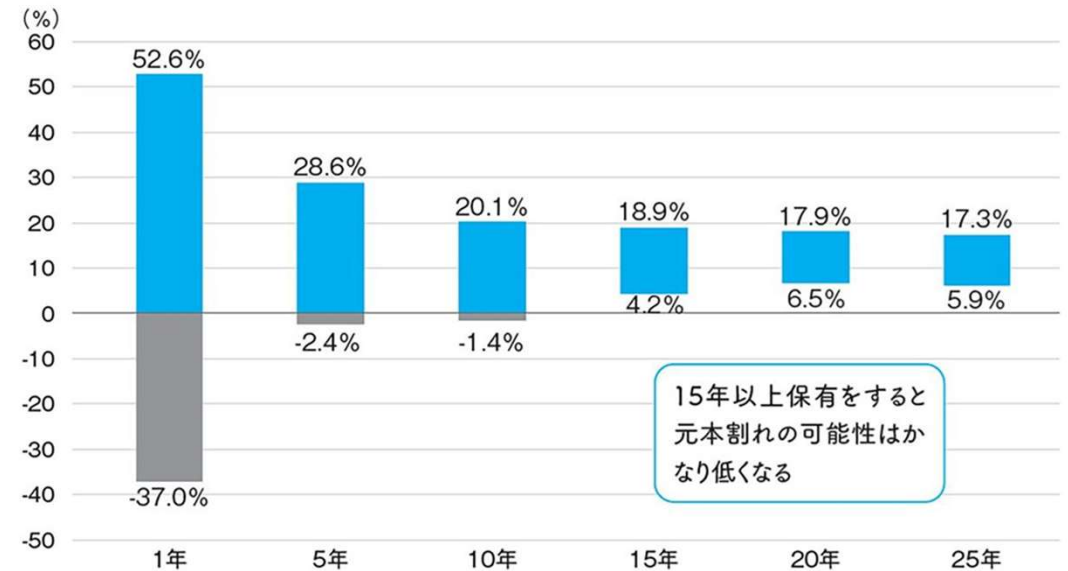
## ● 長期で続ける

- S&P500は過去のデータでは15年以上の投資で元本割れしていない
- 短期では元本割れの可能性あり

## ● 暴落時にやめない(売らない)

- 安値で売ることになる
- 急上昇は数日で起こる
- 回復時に市場にいないとリターンを大きく失う

S&P500の投資期間と年平均リターンの散らばり方(1950年~2020年)



出所:『ウォール街のランダム・ウォーカー<原著第13版>』(バートン・マルキール著、日本経済新聞出版)

※短期の下落はリスクではなく途中経過

※過去のデータであり将来を保証するものではありません

# インデックス投資の選び方

---

## 1. 手数料（最重要）

- 投資信託の手数料（信託報酬）が低いものを選ぶ

## 2. 投資対象を理解する

- 全世界の経済成長を見込むのか、アメリカ経済の成長を見込むのか、それ以外の地域の経済成長を見込むのかをしっかりと意識する

## 3. 純資産（規模）

- 純資産が少ないと償還リスクが高まる

## 4. 購入は気持ちに左右されず淡々と

- 経済成長を取り込むイメージで、基準価額に一喜一憂せず淡々と継続



# 03

## 株主優待投資

## 株主優待投資

### ※資産形成には向かない趣味株

- 株主優待のある株式を購入
- リターンは低め。
- 突然の優待廃止で損することもある



# 株主優待株投資のメリットデメリット

---

## ● メリット

- 年に1回～2回程度、自社商品や商品券などがもらえる
- 成長している企業であれば、配当金や売却益を狙うことができる
- 自分の応援したい株を購入することで、多少下がっても持ち続けることができる

## ● デメリット

- 株主優待が廃止なる可能性がある
- 会社がつぶれると紙切れになる
- 銘柄選定や購入時期を選ぶのが大変

## 株主優待投資の銘柄選択方法

---

### ① 応援したい企業を探す

- 自分が好きな商品やサービスを提供している会社を選ぶ

### ② 売上が伸びているかを確認する

- 売上が下がっている企業は配当や優待を辞めるリスクが高い

### ③ 営業CFがプラスになっているか

- 優待の原資になるCFがプラスでないと優待廃止になる可能性が高まる

### ④ 優待に依存しすぎない



04

高配当株投資

# 高配当投資

## ※インカム狙い

- 高配当（配当金が高い）株式を購入
- 配当金が欲しい人向け。
- 配当利回りだけでの購入は危険（減配リスク）

- 主な商品

- 旭情報サービス
- 九州リースサービス



記載した企業名などはあくまで一例であり売買を推奨するものではありません

# 高配当株投資のメリットデメリット

---

## ● メリット

- 年に1回～2回程度、配当金をもらえる
- 成長している企業であれば、売却益を狙うことができる

## ● デメリット

- タイミングを誤ると高値づかみになる
- 会社がつぶれると紙切れになる
- 配当金の減配やなくなるリスクがある

## 高配当株投資の銘柄選択方法

---

- スクリーニングして銘柄を絞る
  - 配当利回りが4%以上、自己資本比率60%以上
- 増配状況を確認する
  - 配当金が毎年増えているのか
- ファンダメンタルズ分析
  - その他の指標を確認し、倒産リスクなどをできるだけ低くする

## ファンダメンタルズ分析

---

- 営業利益率

- 営業利益(本業の儲け)/売上が10%以上あるか (業種平均と比較して高いか)

- ROE(自己資本利益率)

- 当期純利益/純資産が8%以上あるか

- 配当性向

- 配当性向が高すぎ(50%以上)ないか

- 過去の実績

- 過去に減配などを実施した内容を確認する

**複数の指標で総合判断する必要がある**



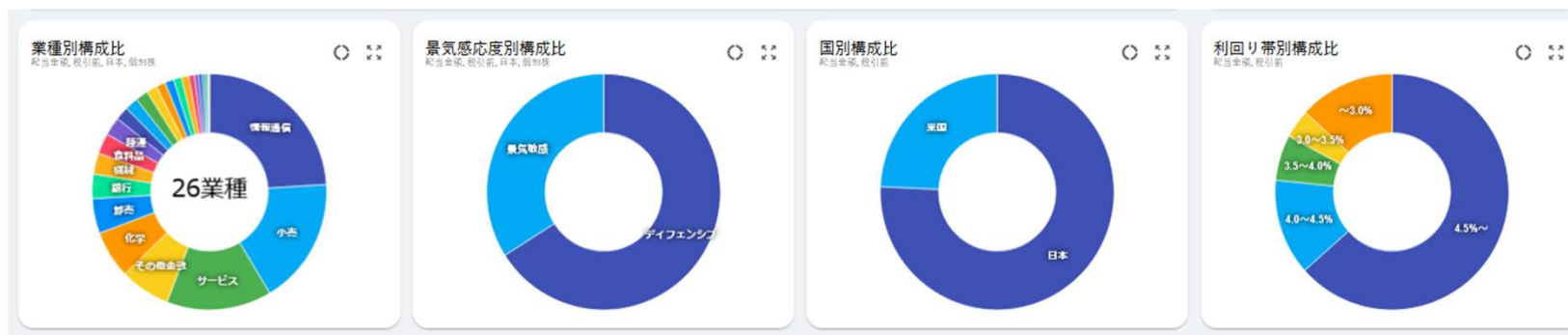
05

実践ツール

## 配当ナビ（高配当株探しで有用）

<https://timetobuystocks.net/>

- 資産の管理ツール
- 配当利回りと増配履歴を確認できる
- 気になる銘柄をウォッチリストに登録して設定した金額や配当利回りになるとメールで教えてくれる



# IRBANK（長期業績分析で有用）

<https://irbank.net/>

- 上場企業データを横断的に検索・分析できる  
投資情報プラットフォーム
- 過去の売上・営業利益の推移を長期間確認できる
- 投資指標が網羅され整理されている

## 目次

- 会社業績
- 財務状況
- キャッシュ・フローの推移
- 配当推移
- 関連リンク
  - 研究開発費、広告宣伝費及び減価償却費等6件の推移

## 会社業績

年度	売上	営業	経常	当期利益	包括	EPS	ROE	ROA	営業率	原価率	販管费率
2008/03	240億	20億	22.7億	2.18億	-	-	0.68	0.58	8.35	66.64	25.01
2009/03	227億	17.8億	20.8億	14.5億	-	-	4.32	3.8	7.83	66.67	25.5
2010/03	233億	22.7億	25.8億	14.3億	-	9.96	4.1	3.52	9.73	65.85	24.42
2011/03	228億	23.5億	27.5億	13.7億	12.3億	9.49	3.76	3.23	10.31	64.07	25.63
2012/03	228億	24億	28.6億	16.2億	17.3億	11.27	4.28	3.71	10.53	64.23	25.23
2013/03	228億	22.6億	27.2億	18.4億	21.9億	12.74	4.63	3.98	9.9	64.04	26.07
2014/03	237億	24.3億	26.9億	16.5億	18.3億	11.46	4	3.27	10.25	63.11	26.63
2015/03	252億	14.7億	19.8億	16.7億	23.5億	11.6	3.9	2.87	5.81	60.03	34.15
2016/03	277億	25.5億	32.5億	35.4億	30.3億	24.61	7.64	5.74	9.2	57.04	33.76
2017/03	280億	29.8億	36.1億	27.8億	34億	19.28	5.65	4.39	10.65	56.26	33.09
2018/03	283億	30.5億	37.1億	23.1億	25.9億	16.02	4.49	3.46	10.75	56.56	32.69
2021/03	196億	-	6.64億	11.2億	-	7.76	-	1.74	-	-	-
2022/03	166億	-	5.86億	8.09億	-	5.62	-	1.26	-	-	-

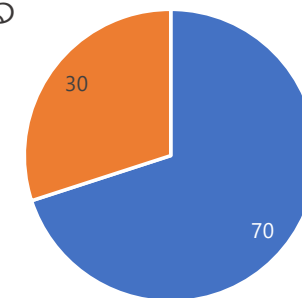


06

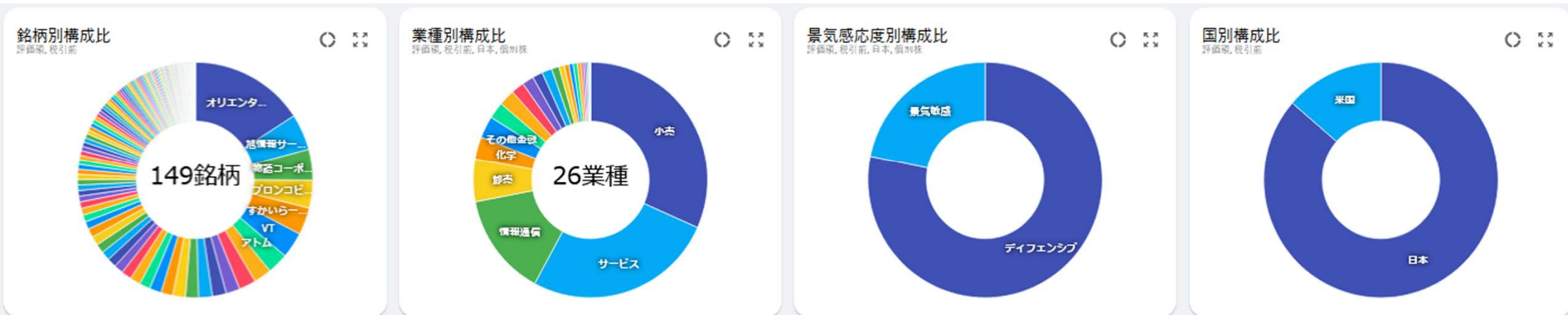
まとめ

# アセットアロケーション

- インデックス投資をコアに個別株はサテライトにおく
  - 安定的な投資をコアにすることで個別株の変動の影響を小さくする
- 一例として7割をインデックス、3割を個別株
- 個別株はいろいろな業種を選んで分散分散させる

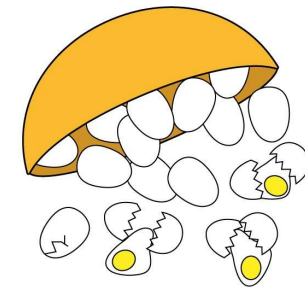


■ コア ■ サテライト



## まとめ

- 投資はインデックス投資が基本
- 個別株は余剰資金で
- 判断は「売上・利益・CF」
- 投資格言「たまごは一つのかごに盛るな」

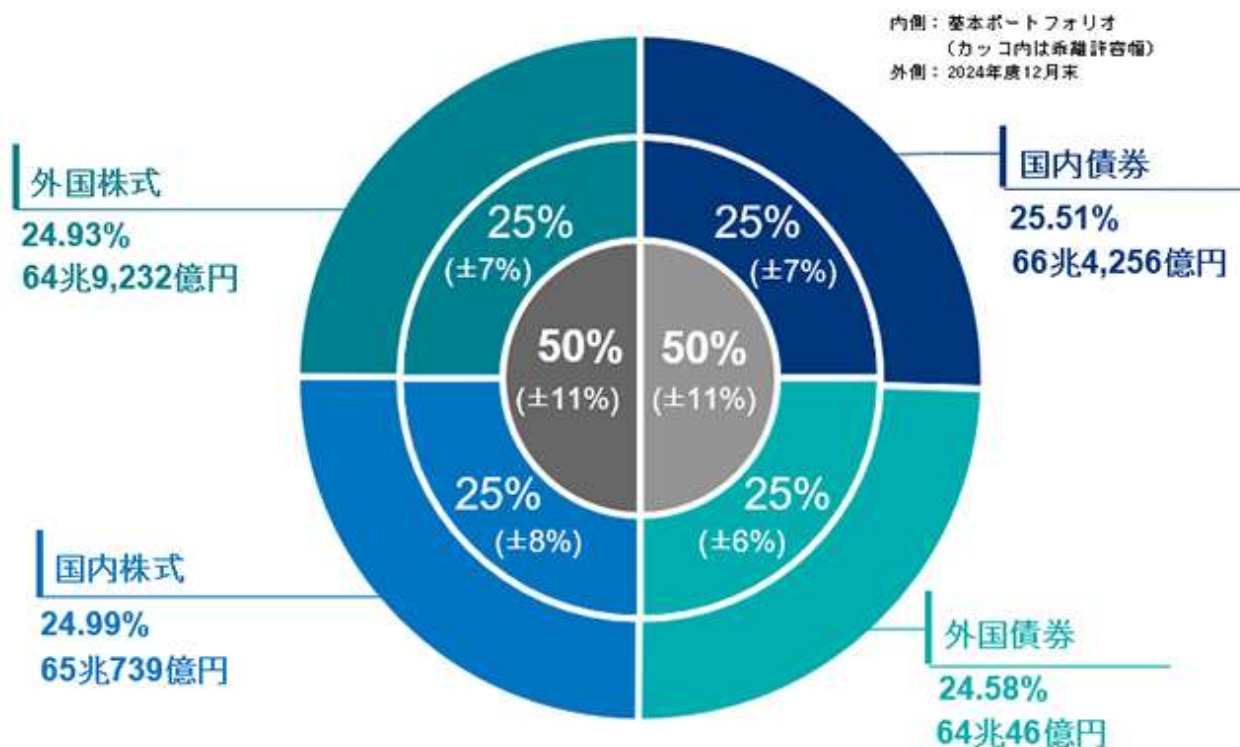


## 失敗パターン

⇒これだけ避ければ勝率は上がる

- 焦って始める
- 下がってやめる

## GPIFの構成



引用：年金積立金管理運用独立行政法人のHPより <https://www.gpif.go.jp/operation/the-latest-results.html>

GPIF：年金積立金管理運用独立行政法人

国内債券、外国債券、国内株式、外国株式をそれぞれ1/4ずつ保有するバランス型